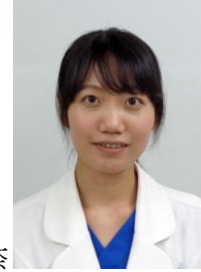


和歌山病院での実習を終えて



大江 杏奈

今回、和歌山県立医科大学の呼吸内科のポリクリの院外実習として、和歌山病院で実習させてもらいました。和歌山病院で一番印象に残ったことは結核病棟に初めて入ったことです。初め結核病棟に対して、閉鎖的で暗いなどの印象を抱いていたのですが、実際入って見てみると、陰圧換気されていて、N95 マスクをすること以外には普通の病棟と特に変わったところはなく、結核病棟に対するイメージも変わりました。DOTS という薬の服薬方法を実施しているのも初めて見たので、確実に薬を服用するいい方法だなと思いました。

またレントゲンの見方の講義を受けたのですが、白く映るものは何か、またどのような条件でレントゲン上で境界が見えるか、などレントゲンを見るための今まで考えもしなかったことを教えてもらいました。これから沢山レントゲンと接すると思いますが、今回教えてもらったことを生かして読影の勉強をしたいと思いました。他にも結核の時のCT所見、酸素マスクについてなど沢山のことを教わりました。病院長の南方先生にご飯に連れ行ってお話を聞いていると地域に根付く伝説や歴史の話などがとても詳しく、興味深く、わたしも和歌山の住人として和歌山のいいところを発信できる人になれるように地域のことも知ろうと思いました。

最後になりましたが、私たちに貴重な機会を与えて下さった南方院長、駿田副院長をはじめ全ての職員の方に感謝申し上げます。ありがとうございました。